

様式第6号(会派用)

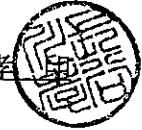
政務活動実施報告書

平成 31 年 4 月 26 日

村上市議会議長 様

会派名 新政村上

代表者氏名 長谷川孝



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	代表者 確認印	経 理 責任者 氏名印	大 滝 久 志
用 務 名	新政村上 行政視察		
実 施 日 時	平成 30 年 5 月 22 日 (火) 午前 8 時 00 分 平成 30 年 5 月 23 日 (水) 午後 6 時 00 分		
用 務 先	福島県須賀川市 地域医療を守る市民基金 福島市福島高校 好適環境水による養殖実証実験		
参 加 議 員 名	本間清人 木村貞雄 佐藤重陽 山田 勉 長谷川 孝		
全 体 参 加 者 数	5 名		
概 要 及 び 所 見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別記記載		
備 考			



会派 新政村上 行政視察報告

新政村上
長谷川 孝

日時 平成30年5月22日(火)～23日(水)

場所 福島県須賀川市 須賀川市地域医療を守る市民基金について
福島県 県立福島高校 好適環境水による養殖実証実験

所感

須賀川市地域医療を守る市民基金について

市民基金ということですので、大勢の市民の参加があるものと期待していたのですが、期待を裏切る結果でした。

市民の参加は殆どなく、企業が3社寄付したことで病院の子どもたちの施設整備にあてたということでしたが、現在は基金の統合により新たに新設された地域振興基金の中に組み込まれてしまいました。

地域医療を守るための市民基金の成功事例として期待していたのですがその内容と市民へのアピール不足が広がりを感じたところでした。

福島高校 好適環境水による養殖実証実験

福島高校では、中位の水槽を使い色々な魚を好適環境水で飼育、その実験はマスコミなどで報道されています。

実際は水産高校などと違い、本格的な養殖を考えているのではなく、実証実験を通して研究している段階でした。

ウナギが多く飼育されていましたが、その稚魚は高価なため専門業者も買い付けが難しい状況にあります。

国内の漁獲高が減少し、外国産の魚の方が消費されている状況を考えますと養殖技術が向上して安心安全な国内産の魚の提供が必要と思いますが、まだ消費者に届けるには好適環境水に対する国のきちんとした制度が必要なのではと感じているところです。